

1 子ども・子育て支援金制度

- 子ども・子育て支援金制度は、**社会連帯の理念を基盤に、こどもや子育て世帯を、全世代・全経済主体が支える新しい分かち合い・連帯の仕組み。医療保険の保険料とあわせて、令和8年度から拠出。**

(令和8年度0.6兆円 令和9年度0.8兆円 令和10年度1兆円)

- 少子化・人口減少が危機的な状況にある中、「**こども未来戦略**」(令和5年12月22日閣議決定)において、**児童手当の抜本的拡充など、年3.6兆円規模のこども・子育て政策の給付拡充**を図る。これらにより個々人の子育てに関する負担を軽減し、少子化トレンドの反転につなげていけるよう、社会全体でこどもや子育て世帯を応援する機運を高める取組もあわせて進める。
- 子ども・子育て支援金制度は、令和8年度から10年度にかけて段階的に構築する、少子化対策のための特定財源。
- 支援金は、児童手当など法律で定めたこども・子育て世帯向けの給付のみに充てるものであり、医療保険料と区分された仕組み。こうした仕組みであるため、**今後の料率も、高齢化に伴って上昇する傾向にある医療・介護保険料のように、当面自然に上昇していくことが想定されるものではない。**

2 一人当たりの負担額

子どもまんなか
こども家庭庁

子ども・子育て支援金に関する試算（医療保険加入者一人当たり平均月額）

（月額、支援金額は50円丸め、保険料額は100円丸め）

	加入者一人当たり支援金額			(参考) 加入者一人当たり 医療保険料額 (令和3年度実績) (②)	(参考) ①/②
	令和8年度見込み額	令和9年度見込み額	令和10年度見込み額 (①)		
全制度平均	250円	350円	450円	9,500円	4.7%
被用者保険	300円 〔(参考) 被保険者一人当たり 450円〕	400円 〔(参考) 被保険者一人当たり 600円〕	500円 〔(参考) 被保険者一人当たり 800円〕	10,800円 〔(参考) 被保険者一人当たり 17,900円〕	4.5%
協会けんぽ	250円 〔(参考) 被保険者一人当たり 400円〕	350円 〔(参考) 被保険者一人当たり 550円〕	450円 〔(参考) 被保険者一人当たり 700円〕	10,200円 〔(参考) 被保険者一人当たり 16,300円〕	4.3%
健保組合	300円 〔(参考) 被保険者一人当たり 500円〕	400円 〔(参考) 被保険者一人当たり 700円〕	500円 〔(参考) 被保険者一人当たり 850円〕	11,300円 〔(参考) 被保険者一人当たり 19,300円〕	4.6%
共済組合	350円 〔(参考) 被保険者一人当たり 550円〕	450円 〔(参考) 被保険者一人当たり 750円〕	600円 〔(参考) 被保険者一人当たり 900円〕	11,800円 〔(参考) 被保険者一人当たり 21,600円〕	4.9%
国民健康保険 (市町村国保)	250円 〔(参考) 一世帯当たり 350円〕	300円 〔(参考) 一世帯当たり 450円〕	400円 〔(参考) 一世帯当たり 600円〕	7,400円 〔(参考) 一世帯当たり 11,300円〕	5.3%
後期高齢者 医療制度	200円	250円	350円	6,300円	5.3%

3 賦課徴収方法・納付方法

国分寺市 国民健康保険税（被保険者から徴収）				
	令和 7 年度		令和 8 年度	
	所得割	均等割	所得割	均等割
医療分	6. 4 0 %	3 0, 0 0 0 円	諮問中	諮問中
後期高齢者支援金分	2. 3 8 %	1 4, 0 0 0 円	諮問中	諮問中
介護保険分	2. 2 4 %	1 6, 0 0 0 円	諮問中	諮問中
【新設】 子ども・子育て支援金分	—	—	諮問中	諮問中

国分寺市 国民健康保険事業保納付金（東京都へ納付）		
	令和 7 年度	令和 8 年度
医療分	2, 4 3 2, 7 1 6, 3 3 9 円	1 月頃都より納付額提示
後期高齢者支援金分	9 0 5, 1 9 2, 8 1 6 円	1 月頃都より納付額提示
介護保険分	3 0 5, 7 4 6, 9 9 9 円	1 月頃都より納付額提示
【新設】 子ども・子育て支援金分	—	1 月頃都より納付額提示